

平素より愛知信用金庫に格別のご愛顧ご支援を賜り誠に有難うございます。

本年も、皆様方に当金庫の経営方針や最近の業績、営業内容をより深くご理解していただくため「AISHIN REPORT 2021」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

国内の地域経済は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大(パンデミック)による経済活動の停滞により、深刻なダメージを被り、リーマンショックを超える厳しい社会経済環境に陥っています。

こうした中、金融政策は、金融緩和と超低金利政策を継続せざるを得ず、人口減少による資金需要の継続的な減少も相俟って、地域金融機関の経営環境は厳しさを増し、収益力維持向上への改革が金融業界の喫緊の課題となっております。

当金庫の主要顧客である中小・小規模事業者にとっては、実態経済の急激な失速による資金繰りの危機に遭いながらも、事業存続に向け奔走されており、当金庫も、地域金融機関の役割である事業者の回復・再生を支える要として、資金繰り支援を第一に、全力を挙げて必要な資金供与に努め、事業者の方々のお役に立てたものと自負しております。

令和3年度は、引き続き事業者の方々への資金繰り支援に注力し、中期経営計画のスローガンである「実りある仕事をお客様とともに」を文字通り実践すると同時に、悪化が避けられないお客様の財務改善や経営改善に資する本業支援等を、外部支援機関や専門家との連携を強化して推し進め、融資の提供に留まらない総合的なサービスの提案により、お客様満足度の向上に繋げて行きたいと考えております。また、顧客事業所の職域も包摂した営業活動によって、お客様一先一先に丁寧且つ深く関わり、経済合理性のみで結びついた取引とは一線を画した取引関係を築き上げ、地域住民、事業先とその職域の人々から強い支持と信頼を獲得し、金利を軸とした貸出条件の競争から脱却して、適正な金利を確保するビジネスモデルの確立に努める方針です。

何卒、今後とも会員各位の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



理事長

浦田 卓

2021年7月

